

タイトル	いやだ いやだ	
対象年齢	2, 3歳児	ペープサート

<作成の意図>

メディア(ゲームやスマホ, DVD, TV など)に長時間ふれることでの体や生活への影響, また親子の関わりについて考える機会とする。

○内容(あらすじ等)

Aちゃんはお母さんのスマートフォンに夢中でお母さんが何を言っても返事がない。結局スマホを取り上げられたAちゃんは怒って泣き出し、お母さんは困ってしまう。

○配慮事項

ストーリーの最後の問いかけ部分に関しては、あくまで文例です。参考にしてください。



『いやだ いやだ』

ナレーター Aちゃんのお家での様子をちょっと覗いてみましょう。
おや？Aちゃんが何かさわりながらじーっと見えていますね。
どうやらお母さんのスマートフォンを見ているようですよ。

Aちゃん 「・・・」

Aちゃんと
スマホが登場

ナレーター Aちゃんはとっても静かですね。
よく見てみると、指先で画面を次々に変えていっているようです。

お母さん 「Aちゃん、ごはんできたわよ。こっちにおいでー。」

お母さん登場

Aちゃん 「・・・」

お母さん 「Aちゃん、聞こえてる？ご飯ができたから、
こっちで食べよう！」

ナレーター おやおや、Aちゃんはスマホばかり見てお母さんの声が
聞こえていないようですね。

お母さん 「もう、いいかげんにしなさい！ごはんって言っているでしょう！」

ナレーター お母さんは返事をしないAちゃんのところへ行って、
スマホを取り上げました。

お母さん 「スマホはもうおしまい！」

Aちゃん 「いやだーいやだー。まだ見るー！うえーん。」

お母さん 「ほら、スマホばかり見ているからママの声が
聞こえなかったでしょう。」

Aちゃん 「いやだ、いやだ。スマホ返して！」

お母さん 「もう、すぐ怒るんだから・・・そんなに怒らないで。」

怒らずに諭す
ように言う

※「みなさんは、Aちゃんを見てどう思いますか？」

「みなさんは、スマホを使ったり見たりしたことがありますか？」

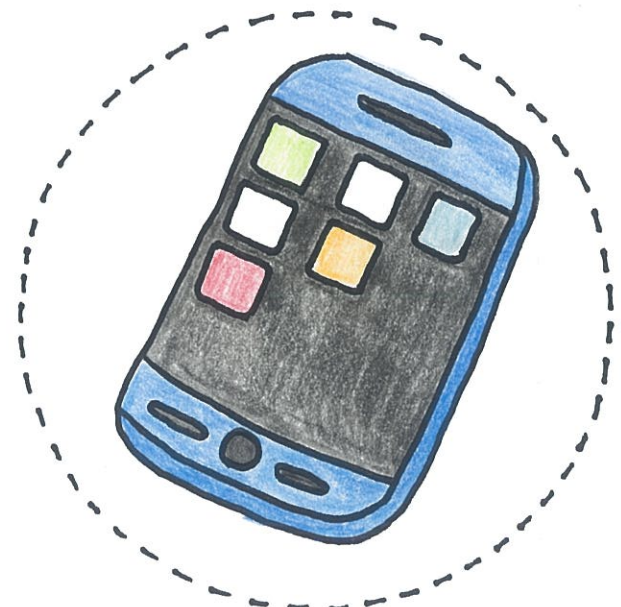
「お母さんは『スマホを返して！』と言いましたが、どうしてスマホを取り上げたのでしょうか？」

などの問いかけをして考える時間を作ってみましょう。

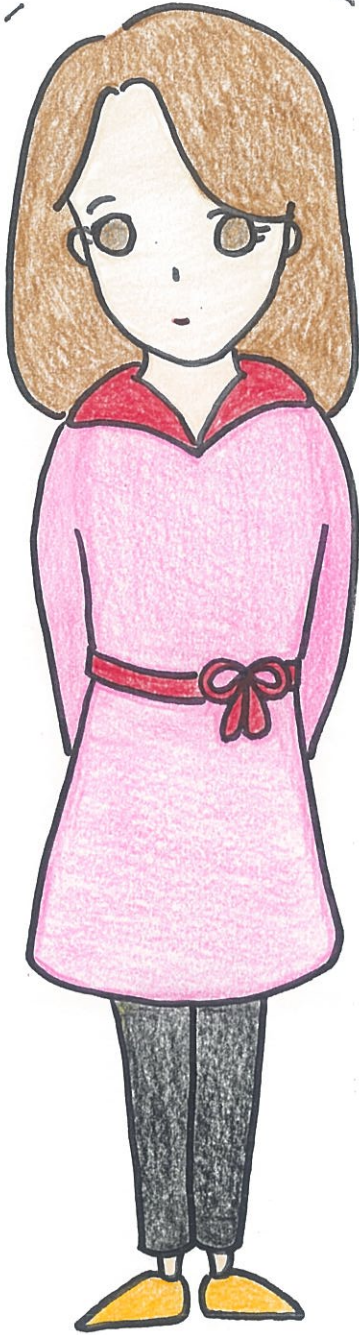
「赤ちゃんの声」
「イヤだイヤだ」
Aちゃん



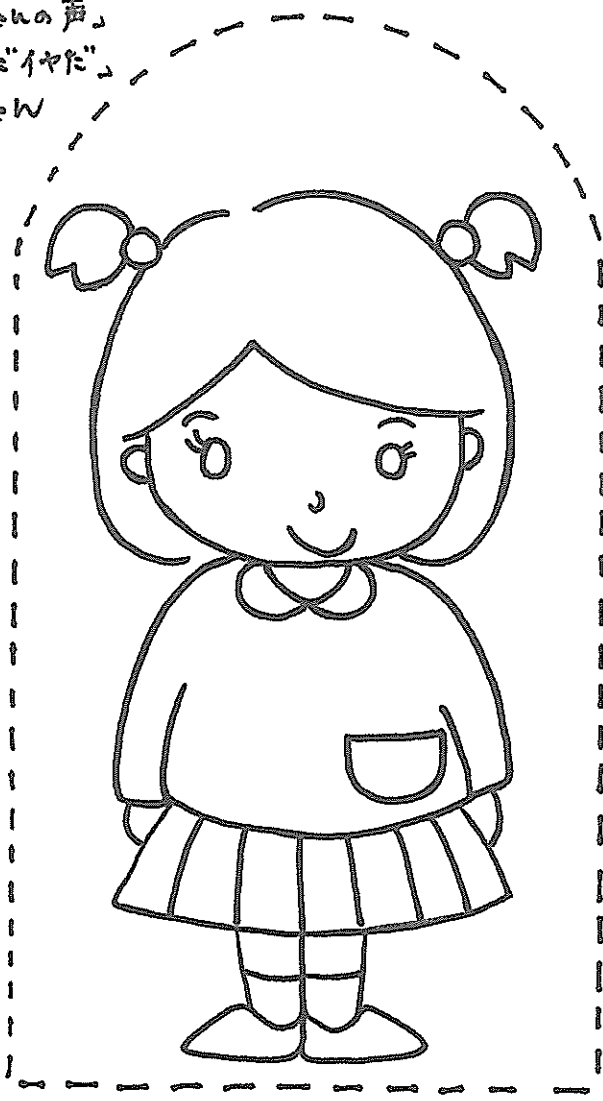
スマホ



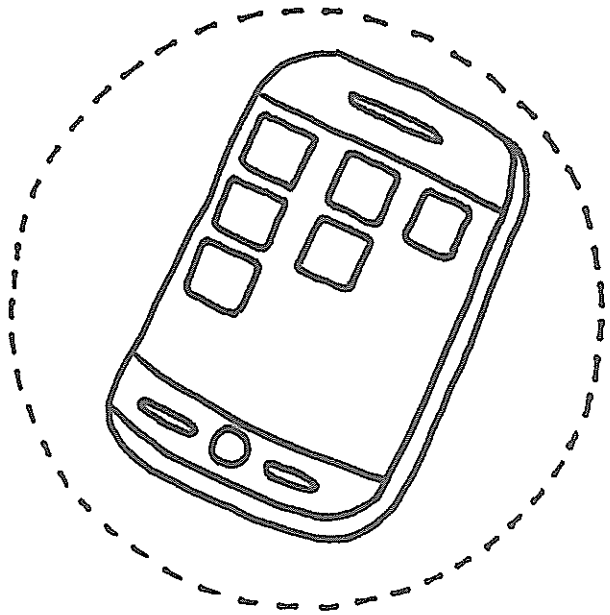
「ケ」は「へ」より「よ」と「ま」も、
「いや」は「いや」
「赤ちゃんの声」
おがみん



「赤ちゃんの声」
「イヤだイヤだ」
Aちゃん



スマホ



「おねえさんの声」
「仲だ 仲だ」
「おねえさん」
「おねえさん」

